



E-Defense Today

(Published by E-Defense, NIED, July 28, 2011, Vol.7 No.2)

定期点検速報

4月1日から開始した平成23年度の実大三次元震動破壊実験施設の定期点検が、6月10日に無事に終了しました。定期点検は今年で7回目となり、作業としては慣れてきた感があります。

しかしながら、震動台が稼働し始めてから8年が経過し、あらゆるところで経年劣化が進みつつあります。部品の交換が必要だとか、装置の更新が必要だとかそのようなことを耳にする機会が増えて来ました。



長くて短い、2ヶ月半弱。この定期点検期間中は、心のどこかで「何もありませんように…」とちょっと祈ってしまう日もありますが、定期点検が終わるとやはりホッとします。

作業者の方々の小さな努力の積み重ねで、安全に定期点検が終了できたと思います。

この報告をお礼に代えたいと思います。

(文責：運営管理室 坂口 智子)

消防訓練報告

2011年5月25日か兵庫耐震工学研究センターでは、毎年2回(春季、秋季)に消防訓練を実施しております。今年も6月7日火曜日に無事実施することが出来ました。

訓練参加人員は、防災科研職員28名、定期点検中の業者23名、そして特別ゲストとして、兵庫県消防学校初任教育生52名の参加を頂き、合計103名の参加になりました。結果報告書に訓練の写真を添付しておりますのでご覧ください。

特別ゲストの消防学校教育生は、教科でE-ディフェンス見学に来ておまして、消防訓練に参加をして貰いました。実は、教育生は何も知らず、見学をしている最中に火災発生の放送が流れ、避難をしなくてはならない状況になってしまいました。消防学校の教官にはあらかじめご協力をお願いしておまして、知らないのは教育生だけと言うことでした。教官曰く、これも消防官になる為の訓練の一環だと言っておられまして、大変有難く思っております。教育生の皆さんには、この場をかりて、ごめんなさい、ありがとう、と申しておきたいと思っております。



また、今回も三木市消防署予防課の皆さんに、ご協力頂きました。防災意識向上を目指し、忙しい中真剣に訓練に取り組んで頂きました、防災科研職員の皆さん、定期点検中の業者の皆さん、誠に有難う御座いました。

次回は秋季に行いますので宜しく、お願い致します。

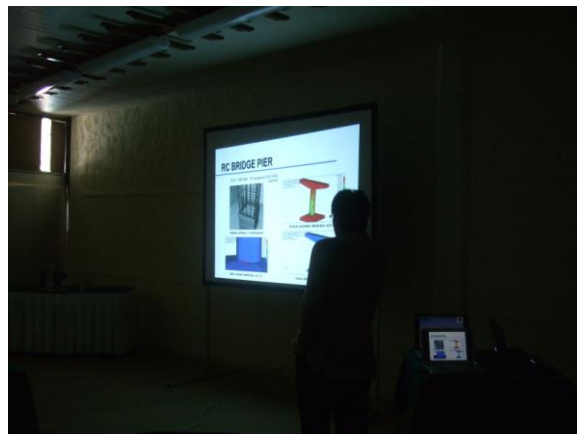
(文責：運営管理室 松木 公孝)

国際会議 (COMPDYN2011) 報告

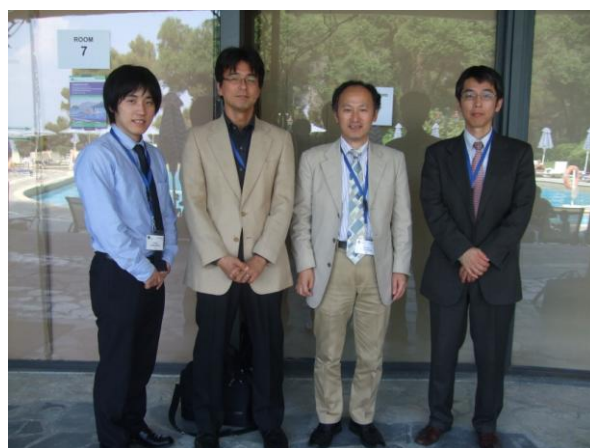
2011年5月25日から28日の日程で、国際会議 COMPDYN2011 (International Conference on Computational Methods in Structural Dynamics and Earthquake Engineering) がギリシャのコルフで開催されました。本国際会議は、構造工学、計算工学、地震工学の研究者が会し、これまで2007年と2009年の2回、開催されております。

Eーディフェンスからは筆者 (山下) が参加し、2日目の「HIGH-PERFORMANCE COMPUTING FOR STRUCTURAL MECHANICS AND EARTHQUAKE ENGINEERING」のセッションにおいて、数値震動台プロジェクトで進めている4層鋼構造骨組のEーディフェンス実験の再現解析について発表しました。また、鉄筋コンクリート橋脚のEーディフェンス実験の再現解析については数値震動台の分科会委員長である堀宗朗委員長 (東大教授) が発表しました。

今回、特に印象に残ったプログラムは Thomas J. R. Hughes 教授の Plenary 講演でした。講演内容は、Hughes 教授が取り組んでいる CAD データを解析の入力データに直接活用するための研究についてでありました。数値震動台プロジェクトにおいて、大規模モデルを扱うためにメッシュ生成作業など解析モデルの作成には膨大な労力を要していることから、解析モデル作成のためのインターフェースの開発を計画しています。そのことから、Hughes 教授の講演を大変興味深く拝聴しました。



発表の様子



セッションを終えて

(文責：研究チーム 山下 拓三)

新戦力紹介

今年の1月4日より、千葉県八街市と言うところから、こちらに来させて頂いております。場所は成田空港の斜め下、ピーナツで有名なところです。本来は、3月末で任期満了になり、千葉の方に帰っている予定だったのですが、そのまま延伸となり現在に至っております。7ヵ月目に入って新戦力紹介と言うのもなんだか変ですが。

改めまして紹介させて頂きます。私は、パシフィックコンサルタンツグループ株式会社 (PCIG) の一員で、前任の斎藤さんはパシフィックコンサルタンツ株式会社 (PCKK)、私はパシコン技術管理株式会社 (PTM) と言う会社に勤務しております。なんだかビルの管理会社の様に思われるかも知れませんが、建設コンサルタントで、主に土木の施工管理、設計及び調査を行っています。



その中で、私は、設計 22 年（主に地中構造物）、施工管理 12 年「成田空港駅増設工事、羽田空港新設工事、富山環状線（路面電車セトラム）、静岡公共下水道工事、青森ベイブリッジ融雪設備工事、座間米軍給水設備工事」と言う様な仕事で、北は青森県、北陸は富山県、甲信越は静岡県、と単身赴任であちこちを移動しております。関西方面は初めてになり、知り合いもほとんどいない状況です。

兵庫耐震工学研究センターと聞いて、最初は何をするのだろうか、と言う戸惑いもあり、また、知り合いもいない関西と言うことで、本当にやって行けるんだろうかと思いました。しかし、仕事をしていくうちに、皆さんとても良い方ばかりで、説明のへたくそな、安全管理講習会も参加して頂いております。大変ありがとうございます。

1 年間通してみないと業務内容等が把握出来ませんが、何とか頑張っている最中です。まだまだ、足りないことは、沢山あると思いますが、まずは、安全に、品質良く、工程内に試験体製作、加振、撤去が終わるように、心がけていく気持でおりますので、ご指導の程、宜しくお願い致します。簡単な紹介となってしまいましたが、今後とも宜しくお願い致します。

（文責：運営管理室 松木 公孝）